1. 保健管理センタ 教職員研究業績

1) 著書

齊藤 郁夫

1) 齊藤郁夫:わが国における大規模臨床試験 (RCT)の現状と課題,ランダム化臨床試験を読み解く.メディカルトリビューン,260-265,2006 2) 齊藤郁夫:本態性高血圧,今日の治療指針 2006.302-305,医学書院,2006

南里 清一郎

1) 南里清一郎 監修:海外赴任と予防接種.海 外邦人医療基金,2006

河邊 博史

1) 河邊博史:症状とその病態生理,疾患の理解. 系統看護学講座 専門12 成人看護学[8] 腎・泌尿器.医学書院,54-62,66-67,112-120, 138-145,2007

大野 裕

- 大野裕:認知行動療法.今日の治療指針 2006
 年版.医学書院,692,2006
- 2) 菊地俊暁,大野裕:薬物療法と認知行動療法 はどちらが有効か? . EBM 精神疾患の治療 . 中外 医学社, 234-236, 2006
- 3) 藤澤大介,大野裕:パーソナリティ概念と分類.精神科臨床ニューアプローチ5.パーソナリティ障害・摂食障害,27,2006
- 4) 宗未来,大野裕他:アルコール依存症を併存したアスペルガー障害の強迫観念に対して、サルコフスキスの認知療法が有効であった1症例.強迫性障害の研究.星和書店,45,46,2006
- 5) 藤澤大介,大野裕:睡眠障害, 老年期.抗不安薬・睡眠薬・抗うつ薬・気分安定薬の使い方. アルタ出版,292-296,2006
- 6) 大野裕:職場不適応(職場のうつ病対策を含む).今日の治療指針.医学書院,723-724,2007

辻岡 三南子

1) 辻岡三南子:検査,原発性糸球体腎炎他.系 統看護学講座 専門12 成人看護学[8] 腎・泌 尿器.医学書院,76-80,120-138,2007

德村 光昭

1) 徳村光昭:やせ症.学校医・学校保健ハンドブック:必要な知識と視点のすべて.衛藤隆,中

原俊隆編集. 文光堂, 418-423, 2006

柴田 洋孝

- 1) 柴田洋孝:副腎性器症候群.今日の治療指針
 2006.医学書院,563 564,2006
- 2) 柴田洋孝:アジソン病、急性副腎不全(副腎 クリーゼ).今日の治療指針2007.医学書院, 548-549,2007
- 3) 柴田洋孝:副腎-機能検査.内分泌外科標準 テキスト.医学書院,202-210,2006
- 4) 柴田洋孝:原発性アルドステロン症/Cushing 症候群/副腎皮質機能低下症/褐色細胞腫.内科研修マニュアル.南江堂,364-370,2006
- 5) 柴田洋孝:原発性アルドステロン症の有効な診断方法の検討:経口食塩負荷試験の有用性.厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業副腎ホルモン産生異常に関する調査研究平成17年度総括・分担研究報告書.厚生労働科学研究費補助金「副腎ホルモン産生異常に関する調査研究」班,96-101,2006
- 6) 柴田洋孝:副腎偶発腫瘍.日本臨床 内分泌症候群(第2版).日本臨床社,714-716,2006 7) 柴田洋孝:デオキシコルチコステロン産生腫瘍.日本臨床 内分泌症候群(第2版).日本臨床社,641-644,2006
- 8) 柴田洋孝: コルチコステロン産生腫瘍. 日本 臨床 内分泌症候群(第2版). 日本臨床社, 638-640,2006

西村 由貴

- 1) 西村由貴,他:刑事事件と精神鑑定.司法精神医学2.中山書店,135-141,2006
- 2) 西村由貴,他:虚偽性障害.チーム医療のための最新精神医学ハンドブック.弘文堂,145-150, 2006
- 3) 西村由貴,他:統合失調症の呼称.チーム医療のための最新精神医学ハンドブック.弘文堂, 388-390,2006
- 4) 西村由貴,他:犯罪精神医学.チーム医療のための最新精神医学ハンドブック.弘文堂, 419 422,2006
- 5) 西村由貴,他:犯罪捜査 プロファイリング. 心の病の現在4 刑法39条.新書館,123-179, 2006

井ノ口 美香子

1) 井ノ口 美香子,他:アンドロゲン不応症. 小児慢性疾患診療マニュアル.診断と治療社, 306-308,2006

2) 論文

齊藤 郁夫

- 1) Liu SL, Saito I, et al: Reducing stroke risk in hypertensive patients: Asian consensus conference recommendations. Int J Stroke, 1(2): 150-157, 2006
- 2) Suzuki A, Saito I, et al: Chlorogenic acid attenuates hypertension and improves endothelial function in spontaneously hypertensive rats. J Hypertens, 24(6): 1065-1073, 2006
- 3) Watanabe T, Saito I, et al: The blood pressure-lowering effect and safety of chlorogenic acid from green coffee bean extract in essential hypertension. Clin Exp Hypertens, 28(5): 439-449, 2006
- 4) Suzuki A, Saito I, et al: Improvement of hypertension and vascular dysfunction by hydroxyhydroquinone-free coffee in a genetic model of hypertension. FEBS Letters, 580(9): 2317-2322, 2006
- 5) Saito I, et al: Controlled release nifedipine and valsartan combination therapy in patients with essential hypertension: The Adalat CR and valsartan cost effectiveness combination (ADVANCE Combi) study. Hypertens Res, 29(10): 789-796, 2006
- 6) 栗山哲,齊藤郁夫: 1遮断薬を使いこなす. Pharma Media,24(7):99-102,2006
- 7) 河邊博史,齊藤郁夫:テルミサルタン投与に よる血圧コントロール状況の変化.Pharma Media, 25(1):114-118,2007
- 8) 齊藤郁夫:降圧薬の選択.最新医学,61(4): 828 832,2006
- 9) 齊藤郁夫:使用頻度の高い降圧薬の費用はど のくらいか.治療,88(4):1347-1350,2006
- 10) 飯野靖彦,齊藤郁夫:降圧薬処方のノウハウ. 成人病と生活習慣病,36(4):353-364,2006
- 11) 齊藤郁夫: 服薬コンプライアンスと血圧コントロール. 血圧, 13(9): 1019-1025, 2006
- 12) 齊藤郁夫: Ca 拮抗薬の併用療法の臨床効果 と費用.血圧, 13(10): 1124-1125, 2006
- 13) 齊藤郁夫: ARB/利尿薬合剤と服薬コンプライアンス. 血圧, 13(12): 1354-1357, 2006
- 14) 齊藤郁夫:降圧薬治療の医療経済 .日本臨床, 64(suppl 6): 271-275, 2006
- 15) 齊藤郁夫:高血圧治療ガイドラインー降圧目標.日本臨床,64(suppl 6):506 508,2006
- 16) 齊藤郁夫:高血圧治療ガイドラインー降圧薬の選択.日本臨床,64(suppl 6):509 512,2006 17) 小田原雅人,齊藤郁夫:診察室におけるメタボリックシンドロームへの対処.内科,99(1):

- 97 109 , 2007
- 18) 広瀬寛,齊藤郁夫:高コレステロール血症に 対するピタバスタチン 1mg/日投与の効果と意義. Prog Med, 27(1):91.96, 2007
- 19) 齊藤郁夫:医療経済を考慮した高血圧治療. Prog Med, 27(1):153-160, 2007
- 20) Saito I, et al: Prevalence of metabolic syndrome in young men in Japan. J Atheroscler Thrombo, 14(1): 27-30, 2007
- 21) Kawabe H, Saito I: Influence of nighttime bathing on evening home blood pressure measurements: How long should the interval be after bathing? Hypertens Res , 29(3): 129-133, 2006
- 22) 齊藤郁夫,河邊博史,他:ロサルタンと少量 利尿薬あるいはカルシウム拮抗薬の併用降圧療法 の効果.医学と薬学,55(3):417 422,2006
- 23) 肥後綾子,齊藤郁夫,他:女性教職員を対象とした骨粗鬆症予防プログラムの評価 踵骨の超音波骨量測定法を用いたスクリーニングとライフスタイル指導の効果 . CAMPUS HEALTH, 43(2): 65-70, 2006
- 24) 河邊博史,齊藤郁夫,他:家庭血圧測定条件 設定の指針.日本臨床,64(増刊号6):10-14,2006
- 25) 河邊博史,齊藤郁夫,他:家庭血圧は一機会に何回測定し、そのどの値を評価に用いるべきか?.慶應保健研究,24(1):15-23,2006
- 26) 齊藤郁夫,河邊博史,他:降圧薬治療中の男性高血圧患者におけるメタボリックシンドロームの頻度と降圧薬治療の現況.慶應保健研究, 24(1):11-14,2006
- 27) 齊藤郁夫,河邊博史,他:定期健診受診者における高血圧の頻度,治療率,コントロール率. 慶應保健研究,24(1):79,2006
- 28) 横山裕一,齊藤郁夫,他:腹囲(内臓脂肪) と肝機能.慶應保健研究,24(1):31 -35,2006
- 29) 広瀬寛,齊藤郁夫,他:定期健康診断における血清グリコアルブミン測定の有用性.慶應保健研究,24(1):37 43,2006
- 30) 久根木康子,齊藤郁夫,他:大学における学生のストレスの対処方法の現状.慶應保健研究, 24(1):69-74,2006
- 31) 藤井香,齊藤郁夫,他:日本人のメタボリックシンドローム診断基準と慶應心臓血管病リスク指数(KCRI:Keio CVD Risk Index)の妥当性、有用性の検討.慶應保健研究,24(1):61-67,2006 32) Kawabe H, Saito I:Effects of nighttime
- 32) Kawabe H, Saito I:Effects of nighttime alcohol intake on evening and next morning home blood pressure in Japanese normotensives. Clin Exp Hypertens, 29(1): 43-49, 2007
- 33) Kawabe H, Saito I: Influence of age and sex on prevalence of masked hypertension determined from home blood pressure measurements. J Hum Hypertens, 21(1): 94-95,

- 34) 玄葉道子,齊藤郁夫,他:高等学校女子に対する保健室の援助について.慶應保健研究,
- 24(1): 75-78, 2006
- 35) 山岸あや,齊藤郁夫,他:結核集団感染における服薬支援について 大学キャンパス内診療所における抗結核薬予防内服事例から .慶應保健研究,24(1):87-91,2006
- 36) Yokota K, Saito I, et al: Coactivation of the N-terminal transactivation of mineralocorticoid receptor by Ubc9.
- J.Biol.Chem , 282(3): 1998-2010 , 2007
- 37) 広瀬寛, 齊藤郁夫: メタボリックシンドローム. 内科, 97(6): 1378-1379, 2006
- 38) 柴田洋孝,齊藤郁夫:原発性アルドステロン症における腎障害.血圧,13(10):18-19,2006

南里 清一郎

- 1) 南里清一郎:海外在留邦人の乳幼児・学童健康相談 発達問題を中心に -. 慶應保健研究, 24(1):51-56,2006
- 2) 南里清一郎:肥満とやせ.月刊リベラルタイム,12月号:21,2006
- 3) 徳村光昭,南里清一郎,他:思春期の健診: 性成熟障害と思春期やせ症の早期発見.小児科臨床,59(4):577-584,2006
- 4) 徳村光昭,南里清一郎,他:小児のライフスタイルと健康.慶應保健研究,24(1):16,2006 5) 井ノ口美香子,南里清一郎,他:やせ.小児

内科 , 38:98 99 , 2006

- 6) 井ノ口美香子,南里清一郎,他:学校健診における男子小・中学生の腹囲測定の意義 肥満度のみによる体型判定との比較 .慶應保健研究,24(1):57-59,2006
- 7) 廣金和枝,南里清一郎,他:中高一貫教育校におけるインフルエンザ予防対策:現状と今後の対策.学校保健研究,48:422 429,2006

河邊 博史

- 1) Kawabe H, et al: Influence of nighttime bathing on evening home blood pressure measurements: how long should the interval be after bathing? Hypertens Res , 29(3): 129-133, 2006
- 2) 齊藤郁夫,河邊博史,他:ロサルタンと少量 利尿薬あるいはカルシウム拮抗薬の併用降圧療法 の効果.医学と薬学,55(3):417-422,2006
- 3) 肥後綾子,河邊博史,他:女性教職員を対象とした骨粗鬆症予防プログラムの評価 踵骨の超音波骨量測定法を用いたスクリーニングとライフスタイル指導の効果 . CAMPUS HEALTH , 43(2):

- 4) 河邊博史,他:家庭血圧測定条件設定の指針.日本臨床,64(増刊号6):10-14,2006
- 5) 河邊博史,他:家庭血圧は一機会に何回測定し、そのどの値を評価に用いるべきか? 慶應保健研究,24(1):15-23,2006
- 6) 齊藤郁夫,河邊博史,他:降圧薬治療中の男性高血圧患者におけるメタボリックシンドロームの頻度と降圧薬治療の現況.慶應保健研究, 24(1):11-14,2006
- 7) 齊藤郁夫,河邊博史,他:定期健診受診者に おける高血圧の頻度,治療率,コントロール率. 慶應保健研究,24(1):79,2006
- 8) 横山裕一,河邊博史,他:腹囲(内臓脂肪) と肝機能.慶應保健研究,24(1):31-35,2006
- 9) 広瀬寛,河邊博史,他:定期健康診断における血清グリコアルブミン測定の有用性.慶應保健研究,24(1):37-43,2006
- 10) 久根木康子,河邊博史,他:大学における学生のストレスの対処方法の現状.慶應保健研究, 24(1):69-74,2006
- 11) 藤井香,河邊博史,他:日本人のメタボリックシンドローム診断基準と慶應心臓血管病リスク指数(KCRI:Keio CVD Risk Index)の妥当性、有用性の検討.慶應保健研究,24(1):61-67,2006 12) 河邊博史:Information Up-to-Date 入浴と家庭血圧測定.血圧,13(7):16-17,2006
- 13) 河邊博史: 気になる「検査の結果」改善のコツ: 今年は「血圧ダイアリー」で高血圧をコントロール. Health & Life, 266号: 4 9, 2007
- 14) Kawabe H, et al: Effects of nighttime alcohol intake on evening and next morning home blood pressure in Japanese normotensives. Clin Exp Hypertens, 29(1): 43-49, 2007
- 15) Kawabe H, et al: Influence of age and sex on prevalence of masked hypertension determined from home blood pressure measurements. J Hum Hypertens, 21(1): 94-95, 2007
- 16) 河邊博史,他:テルミサルタン投与による血 圧コントロール状況の変化:新規単独投与例およ び切り替え例における外来血圧、家庭血圧での検 討. Pharma Medica, 25(1):114-118, 2007
- 17) 広瀬寛,河邊博史,他:高コレステロール血症に対するピタバスタチン1mg/日投与の効果と意義. Prog Med, 27(1):91 96, 2007

大野 裕

- 1) Ono Y: Suicide Is Preventable .JMAJ ,49(1): 44-46 , 2006
- 2) Sakamoto S, Ono Y, et al: Socio-psychological factors relating to suicide prevention in a Japanese rural

community:Coping behaviors and attitudes toward depression and suicidal ideation. Psychiatry and Clinical Neurosciences, 60: 676-686, 2006

- 3) Naganuma Y, Ono Y, et al: Twelve month use of mental health services in four areas in Japan: Findings from the World Mental Health Japan Survey 2002 -2003 . Psychiatry and Clinical Neuroseiences , 60: 240-248 , 2006
- 4) Uchida A, Ono Y, et al : Age related variation of salivary testosterone values in healthy Japanese . The Aging Male ,9(4): 207-213 , 2006
- 5) 大野裕:パニック障害、PTSD(外傷後ストレス 障害). 臨床と研究,83(3):9-22,2006
- 6) 大野裕:うつ病治療の現況.成人病と生活習 慣病,36(3):332-336,2006
- 7) 大野裕:地域双生児登録を用いた気分障害の発症要因の検討:双生児法による精神疾患の病態解明.厚生労働科学研究費補助金こころの科学研究事業報告書:15-31,2006
- 8) 大野裕:わが国の自殺の現状と防止の取り組
- み . Pharma Medica , 24(5): 45 48 , 2006
- 9) 藤澤大介,大野裕:高齢者のうつ病とサイコ エデュケーション.老年精神医学雑誌,17(3): 297-301,2006
- 10) 大野裕:わが国における精神療法効果研究の 現状と展望.精神神経学雑誌,108(2):172-175, 2006
- 11) 大野裕:女性のメンタルヘルス特集にあたって.性差と医療, 3(6):18,2006
- 12) 大野裕:自殺をどのように予防するか 精神 科の立場から - . 精神科,8(5):365-368,2006
- 13) 大野裕: うつ病の診療 プライマリ・ケアで の精神疾患診療のポイント JIM ,16(6):462 465 ,2006
- 14) 渡邉義信,大野裕:認知行動療法で取り扱う 不安.こころの科学,128:42 46,2006
- 15) 大野裕:うつ病 medicina, 13(12):558 561, 2006
- 16) 大野裕,田島美幸:自殺対策のための戦略研究 うつ病のすべて.週刊医学のあゆみ,19(13): 1093-1097,2006
- 17) 大野裕: 職域における認知療法の活用.産業 精神保健,14(4):245-246,2006
- 18) 大野裕:自殺対策における行政の課題.月刊 自治フォーラム,567:48,2006

辻岡 三南子

1) 辻岡三南子: スポーツ医学エビデンス 身体活動で疾病は予防・改善可能か? 身体活動量と高血圧 . 臨床スポーツ医学, 23(8): 953 961, 2006 2) 辻岡三南子: 健康のためのサプリメントや食品をめぐる最近の問題 . 慶應保健研究, 24(1): 93 -98, 2006

- 3) 齊藤郁夫,辻岡三南子,他:定期健診受診者 における高血圧の頻度,治療率,コントロール率. 慶應保健研究,24(1):7.9,2006
- 4) 齊藤郁夫,辻岡三南子,他:降圧薬治療中の 男性高血圧患者におけるメタボリックシンドロームの頻度と降圧薬治療の現況.慶應保健研究, 24(1):11-14,2006
- 5) 森木隆典, 辻岡三南子, 他: 高校生における 体重管理指導の試み.慶應保健研究, 24(1):45 50, 2006
- 6) 藤井香,辻岡三南子,他:日本人のメタボリックシンドローム診断基準と,慶應心臓血管病リスク指数(KCRI;Keio CVD Risk Index)の妥当性,有用性の検討.慶應保健研究,24(1):61-68,20067) 玄葉道子,辻岡三南子,他:高等学校女子に対する保健室の援助について.慶應保健研究,24(1):75-78,2006
- 8) 森正明,辻岡三南子,他:慶應義塾の医療関係者に対する新しい結核対策

-Quant i FERON -TB(2G)検査を用いた医学部・看護医療学部新入生,大学病院新規採用教職員への対応

- -. 慶應保健研究, 24(1):99-110, 2006
- 9) 齊藤郁夫, 辻岡三南子, 他: ロサルタンと少量利尿薬あるいはカルシウム拮抗薬の併用降圧療法の効果. 医学と薬学, 55(3): 417 422, 2006
- 10) 廣金和枝, 辻岡三南子, 他: 中高一貫教育校におけるインフルエンザ予防対策: 現状と今後の対策. 学校保健研究, 48: 422 429, 2006
- 11) Saito I, Tsujioka M, et al: Prevalence of metabolic syndrome in young men in Japan. J Atheroscler Thrombo, 14(1):27-30, 2007

和井内 由充子

 和井内由充子,他:高校生の心臓検診における問診票の有効利用について.慶應保健研究, 24(1):25-29,2006

德村 光昭

- 1) 徳村光昭,他:Simposium for school care programmes for anorexia nervosa, Screening for anorexia nervosa using physical measurements values in school health practice.思春期やせ症と思春期の不健康やせの実態把握及び対策に関する研究:分担研究報告書 平成17年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告書,20062) 徳村光昭,他:思春期の健診:性成熟障害と
- 2) 徳村光昭,他:思春期の健診:性成熟障害と 思春期やせ症の早期発見.小児科臨床,59(4): 577-584,2006
- 3) 徳村光昭:スポーツ医学エビデンス:小児の 身体活動量と心血管疾患.臨床スポーツ医学, 23(5):545-552,2006

- 4) 徳村光昭,他:小児のライフスタイルと健康. 慶應保健研究,24(1):1-6,2006
- 5) 徳村光昭:スポーツ医学エビデンス:小児肥満と合併症.臨床スポーツ医学,24(1):62 -72,2007
- 6) 徳村光昭: 園医、学校医の実践 Q&A: 各種検 診要精査児のフォローアップ. 小児内科, 38(3): 590-592, 2006
- 7) 徳村光昭:園医、学校医の実践 Q&A:スパルタ式トレーニングの危険性に対するアドバイス. 小児内科,38(3):665-666,2006
- 8) 徳村光昭:園医、学校医の実践 Q&A:夏場の 水分補給と暑熱対策.小児内科,38(3):667-668, 2006
- 9) 森木隆典, 徳村光昭, 他:高校生における体 重管理指導の試み.慶應保健研究, 24(1):45-49, 2006
- 10) 井ノ口美香子, 徳村光昭, 他: 学校健診における男子小・中学生の腹囲測定の意義 肥満度のみによる体型判定との比較 . 慶應保健研究, 24(1): 57-59, 2006
- 11) 廣金和枝, 徳村光昭, 他: 中高一貫教育校に おけるインフルエンザ予防対策: 現状と今後の対 策. 学校保健研究, 48: 422, 429, 2006

森 正明

- 1) 藤井香,森正明,他:日本人のメタボリックシンドローム診断基準と,慶應心臓血管病リスク指数(KCRI; Keio CVD Risk Index)の妥当性,有用性の検討.慶應保健研究,24(1):61-67,2006 2) 久根木康子,森正明,他:大学における学生のストレスの対処方法の現状.慶應保健研究,24(1):69-74,2006
- 3) 玄葉道子,森正明,他:高等学校女子に対する保健室の援助について.慶應保健研究,24(1):75-78,2006
- 4) 山岸あや,森正明,他:結核集団感染における服薬支援について 大学キャンパス内診療所における抗結核薬予防内服事例から . 慶應保健研究,24(1):87-91,2006
- 5) 森正明,他:慶應義塾の医療関係者に対する新しい結核対策 Quant i FERON -TB(2G)検査を用いた医学部・看護医療学部新入生,大学病院新規採用教職員への対応 . 慶應保健研究,24(1):99-109,2006

横山 裕一

1) Yokoyama H, et al: An inverse association between serum gamma glutamyl transpeptidase activity and Breslow's lifestyle index; its practical application for screening of subjects with unhealthy lifestyles. Journal of occupatinal health, 48: 198-206, 2006

- 2) 横山裕一: アディポネクチン動態から考えた 脂肪肝と生活習慣病、メタボリック症候群、イン スリン抵抗性症候群の関係.消化器科,43:84 90, 2006
- 3) 横山裕一,他:腹囲(内臓脂肪)と肝機能. 慶応保健研究,24:31-36,2006
- 4) 肥後綾子,横山裕一,他:医学部教職員における B 型肝炎ワクチン接種状況と抗体陽性率.慶応保健研究,24:79-86,2006

広瀬 寛

1) 広瀬寛: メタボリックシンドロームと体質改善 - 高分子量アディポネクチンを指標として - . 日本体質医学会雑誌,68(1・2合併号):85-89, 2006

2) Saisho Y, Hirose H, et al: Effect of

- valsartan, an angiotensin II receptor blocker, on markers of oxidation and glycation in Japanese type 2 diabetic subjects: Blood pressure-independent effect of valsartan. Diabetes Res. Clin. Pract, 74(2): 201-203, 2006 3) Yokoyama H, Hirose H, et al: An inverse association between serum gamma glutamyl transpeptidase activity and Breslow's lifestyle index: Its practical application for screening of subjects with unhealthy lifestyles. J. Occup. Health, 48(3): 198-206, 2006
- 4) 広瀬寛, 齊藤郁夫: メタボリックシンドローム. 内科, 97(6):1378-1379, 2006
- 5) 齊藤郁夫,広瀬寛,他:降圧薬治療中の男性 高血圧患者におけるメタボリックシンドロームの 頻度と降圧薬治療の現況.慶應保健研究,24(1): 11-14,2006
- 6) 横山裕一,広瀬寛,他:腹囲(内臓脂肪)と 肝機能.慶應保健研究,24(1):31 35,2006
- 7) 広瀬寛,他:定期健康診断における血清グリコアルブミン測定の有用性.慶應保健研究, 24(1):37-43,2006
- 8) 藤井香,広瀬寛,他:日本人のメタボリックシンドローム診断基準と、慶應心臓血管病リスク指数(KCRI; Keio CVD Risk Index)の妥当性、有用性の検討.慶應保健研究,24(1):61-67,2006
- 9) Saito I, Hirose H, et al: Prevalence of metabolic syndrome in young men in Japan. J Atheroscler Thromb, 14(1): 27-30, 2007
- 10) 広瀬寛,他:メタボリックシンドローム管理の実際:高血圧.内科,99(1):41 44,2007
- 11) 広瀬寛,他:高コレステロール血症に対する ピタバスタチン 1 mg/日投与の効果と意義.
- Progress in Medicine , 27(1): 91 96 , 2007 12) 河場博中 広瀬宮 他・テルミサルタン
- 12) 河邊博史,広瀬寛,他:テルミサルタン投与による血圧コントロール状況の変化:新規単独投与例および切り替え例における外来血圧、家庭血

圧での検討 .Pharma Medica ,25(1):114 -118 ,2007

柴田 洋孝

- 1) Yokota K, Shibata H, et al: Coactivation of the N-terminal transactivation of mineralocorticoid receptor by Ubc9.
- J.Biol.Chem , 282(3): 1998-2010 , 2007
- 2) Fukai N, Shibata H, et al: A case of estrogen secreting adrenocortical carcinoma with subclinical Cushing's syndrome. Endocr.J., 53(2): 237-245, 2006
- 3) Homma K, Shibata H, et al: Primary malignant hepatic pheochromocytoma with negative adrenal scintigraphy. Hypertens.Res., 29(7): 551-554, 2006
- 4) 柴田洋孝:クッシング症候群.ホルモンと臨床,54(増刊):158-164,2006
- 5) 柴田洋孝,鈴木洋通:副腎腫瘍の画像診断. ホルモンと臨床,54(増刊):33-37,2006
- 6) 柴田洋孝,齊藤郁夫:経口避妊薬とRAS. Angiotensin Research, 3(2):33-37,2006
- 7) 柴田洋孝:偽性アルドステロン症.日本内科 学会雑誌,95(4):671-676,2006
- 8) 柴田洋孝,村井彩乃,他:原発性アルドステロン症の診断における経口食塩負荷試験の有用性.東京女子医科大学雑誌,76(7):262-264,2006
- 9) 成瀬光栄,柴田洋孝,他:原発性アルドステロン症の診断と治療-標準化に向けて.東京女子 医科大学雑誌,76(7):277-289,2006
- 10) 柴田洋孝: Cushing 症候群.内科,97(6): 1396-1397,2006
- 11) 柴田洋孝:原発性アルドステロン症.内科, 97(6):1398-1399,2006
- 12) 柴田洋孝:褐色細胞腫.内科,97(6): 1400-1401,2006
- 13) 肥後綾子,柴田洋孝,他:女性教職員を対象とした骨粗鬆症予防プログラムの評価~踵骨の超音波骨量測定法を用いたスクリーニングとライフスタイル指導の効果~. CAMPUS HEALTH, 43(2): 65-70, 2006
- 14) 森木隆典,柴田洋孝,他:高校生における体 重管理指導の試み.慶應保健研究,24(1):45 49, 2006
- 15) 藤井香,柴田洋孝,他:日本人のメタボリックシンドローム診断基準と慶應心臓血管病リスク指数(KCRI: Keio CVD Risk Index)の妥当性、有用性の検討.慶應保健研究,24(1):61-67,2006
- 16) 柴田洋孝: ミネラルコルチコイド受容体研究 の最前線. 治療学, 40(8): 69, 2006
- 17) 柴田洋孝:画像診断からの診断へのアプローチ.診断と治療,95(2):258-264,2007
- 18) 柴田洋孝: 内分泌疾患の診断のコツ. ドクターサロン, 50(7): 45 49, 2006

- 19) 柴田洋孝: アルドステロンの再評価. ドクターサロン, 50(8): 58-62, 2006
- 20) 柴田洋孝,齊藤郁夫:原発性アルドステロン症における腎障害.血圧,13(10):18-19,2006 21) 柴田洋孝,横田健一,他:ミネラルコルチコイド受容体と転写共役因子のリガンド依存性相互作用.内分泌・糖尿病科,23(6):566-574,2006 22) 武田彩乃,柴田洋孝,他:心臓におけるミネラルコルチコイド受容体のシグナル伝達機構.内分泌・糖尿病科,23(6):617-623,2006
- 23) 中川健,柴田洋孝,他:原発性アルドステロン症における静脈サンプリングの現状.内分泌外科,22(3):150-154,2006
- 24) 竹内瑞穂,柴田洋孝,他:ACTH高値を示した GF, PRL 同時産生腺腫の一例.ホルモンと臨床,55(1):85-89,2007

森木 隆典

- 1) 廣金和枝,森木隆典,他:中高一貫教育校に おけるインフルエンザ予防対策 - 現状と今後の 対策 - .学校保健研究,48(5):422 429,2006
- 2) 森木隆典:薬剤性血小板減少.血液フロンティア,16(10):41-46,2006
- 3) 森木隆典,他:高校生における体重管理指導の試み.慶應保健研究,24(1):45 49,2006
- 4) 藤井香,森木隆典,他:日本人のメタボリックシンドローム診断基準と、慶應心臓血管病リスク指数 (KCRI; Keio CVD Risk Index)の妥当性、有用性の検討.慶應保健研究,24(1):61-67,2006

西村 由貴

- 1) 西村由貴: PCL R とサイコパシー. 日本犯罪 心理学会, 43(特別号): 222-225, 2006
- 2) 西村由貴,他:学校ベースの精神保健医療の あり方について.慶應保健研究,24(1):111-118, 2006
- 3) 久根木康子,西村由貴,他:大学における学生のストレスの対処方法の現状.慶應保健研究, 24(1):69-74,2006

田中 徹哉

- 1) 渡辺久子,田中徹哉:思春期やせ症および思春期の不健康やせの実態把握及び対策に関する研究.平成17年度厚生労働科学研究報告書 思春期やせ症と思春期の不健康やせの実態把握および対策に関する研究:145,2006
- 2) 渡辺久子,田中徹哉:思春期やせ症と「不健康やせ」の第二次全国頻度調査.同上:38 41,2006
- 3) 徳村光昭,田中徹哉,他:小児のライフスタイルと健康.慶應保健研究,24(1):16,2006
- 4) 井ノ口美香子,田中徹哉,他:学校健診における男子小・中学生の腹囲測定の意義 肥満度

のみによる体型判定との比較 - . 慶應保健研究, 24(1):57-59,2006

井ノ口 美香子

- 1) Inokuchi M, et al: Standardized Centile Curves of Body Mass Index for Japanese Children and Adolescents Based on the 1978 -1981 National Survey Data. Ann Hum Biol, 33(4): 444-453, 2006 2) 井ノ口美香子,他: 学校健診における男子小・中学生の腹囲測定の意義・肥満度のみによる体型判定との比較・・慶應保健研究, 24(1): 57-59, 2006
- 3) 井ノ口美香子,他:成長障害(低身長)を伴う 愛情遮断症候群.別冊 日本臨床 新領域別症候 群シリーズ No1 内分泌症候群(第2版) , 102-104,2006
- 4) 井ノ口美香子,他:内分泌疾患.小児科, 47(10):1526-1532,2006
- 5) 井ノ口美香子,他:やせ.小児内科,38(増刊号):98-99,2006
- 6) 徳村光昭,井ノ口美香子,他:小児のライフスタイルと健康.慶應保健研究,24(1):16,20067) 徳村光昭,井ノ口美香子,他:思春期の健診 性成熟障害と思春期やせ症の早期発見 . 小児科臨床,59(4):577-584,2006

伴 英子

1) 徳村光昭,伴英子,他:小児のライフスタイルと健康.慶應保健研究,24(1):16,2006 2) 井ノ口美香子,伴英子,他:学校健診における男子小・中学生の腹囲測定の意義 - 肥満度のみによる体型判定との比較 - .慶應保健研究,24(1):57-59,2006

藤井 香

- 1) 藤井香,他:大学病院職員を対象とした結核 管理情報システムとその運用.第7回看護情報研 究会論文集,138-141,2006
- 2) 藤井香,他:日本人のメタボリックシンドローム診断基準と,慶應心臓血管病リスク指数
- (KCRI ; Keio CVD Risk Index)の妥当性,有用性の検討.慶應保健研究,24(1):61-67,2006
- 3) 肥後綾子,藤井香,他:医学部教職員におけるB型肝炎ワクチン接種状況と抗体陽性率.慶應保健研究,24(1):79-85,2006
- 4) 森正明,藤井香,他:慶應義塾の医療関係者に対する新しい結核対策 Quant i FERON -TB(2G)検査を用いた医学部・看護医療学部新入生,大学病院新規採用教職員への対応 . 慶應保健研究,24(1):99-109,2006
- 5) 藤井香,他:医学部教職員の喫煙に関する背景要因.産業衛生学雑誌,48:577,2006

- 6) 藤井香,他:メタボリック・シンドローム診断基準に対する飲酒の影響:学校保健研究,48:416-417,2006
- 7) 藤井香,他:医学部・看護系学部の学生・教職員におけるB型肝炎ワクチン完遂接種の重要性.学校保健研究,48:410-411,2006
- 8) 横山裕一,藤井香,他:腹囲(内臓脂肪)と 肝機能.慶應保健研究,24(1):31 35,2006
- 9) 久根木康子,藤井香,他:大学における学生のストレスの対処方法の現状.慶應保健研究, 24(1):69-74,2006

久根木 康子

1) 久根木康子,他:大学における学生のストレスの対処方法の現状.慶應保健研究,24(1):69-74,2006

玄葉 道子

- 1) 玄葉道子,他:高等学校女子に対する保健室 の援助.慶應保健研究,24(1):75 78,2006
- 2) 和井内由充子,玄葉道子,他:高校生の心臓 検診における問診票の有効利用について.慶應保 健研究,24(1):25 29,2006

肥後 綾子

- 1) 藤井香,肥後綾子,他:大学病院職員を対象 とした結核管理情報システムとその運用.第7回 看護情報研究会論文集,138-141,2006
- 2) 横山裕一,肥後綾子,他:腹囲(内臓脂肪) と肝機能.慶應保健研究,24(1):31-35,
- 3) 藤井香,肥後綾子,他:日本人のメタボリックシンドローム診断基準と,慶應心臓血管病リスク指数(KCRI; Keio CVD Risk Index)の妥当性,有用性の検討.慶應保健研究,24(1):61-67,2006
- 4) 久根木康子,肥後綾子,他:大学における学生のストレスの対処方法の現状.慶應保健研究, 24(1):69-74,
- 5) 肥後綾子,藤井香,他:医学部教職員におけるB型肝炎ワクチン接種状況と抗体陽性率.慶應保健研究,24(1):79-85,2006
- 6) 森正明,肥後綾子,他:慶應義塾の医療関係者に対する新しい結核対策 Quant i FERON TB(2G)検査を用いた医学部・看護医療学部新入生,大学病院新規採用教職員への対応 . 慶應保健研究,24(1):99-109,2006
- 7) 藤井香,肥後綾子,他:医学部教職員の喫煙 に関する背景要因.産業衛生学雑誌,48:577,2006

外山 千鈴

1) 森木隆典,外山千鈴,他:高校生における体

重管理指導の試み .慶應保健研究 ,24(1):45 49 , 2006

土屋 実穂

1) 森木隆典,土屋実穂,他:高校生における体 重管理指導の試み.慶應保健研究,24(1):45 49, 2006

3) 学会発表

齊藤 郁夫

- 1) Saito I, et al: Controlled release nifedipine and valsartan combination therapy in patients with essential hypertension 17th European Society of Hypertension 2006
- 2) Saito I, et al: Position of the fixed dose combination drug in the treatment of hypertension 12th Asia Pasific All board meeting 2006
- 3) Saito I, et al: Olmesartan medoxomil has rapid onset of antihypertensive acton when given alone, in combination and to patients switched from other antihypertensive agents 21st Scientific meeting of International Society of Hypertension 2006
- 4) Saito I, et al: Gap between patients' and physicians' attitudes and awareness toward hypertension and its complication, cardiovascular disease 21st Scientific meeting of International Society of Hypertension 2006
- 5) Saito I, et al: Angiotensin II receptor blocker and calcium channel blocker combination therapy is cost effective compared to monotherapy in treating hypertensive patients-Pharmacoeconomic evaluation by Monte Carlo simulation model in Japan 21st Scientific meeting of International Society of Hypertension 2006
- 6) Saito I, et al: Efficacy amd safety of angiotensin II receptor blocker in elderly isolated systolic hypertensive patietns 21st Scientific meeting of International Society of Hypertension 2006
- 7) Kushiro T, Saito I, et al: Discrepacy of actual achievement rate of blood pressure target and physicians' assessment of efficacy in elderly hypertensives 21st Scientific meeting of International Society of Hypertension 2006
- 8) Kushiro T, Saito I, et al: Comparative study of blood pressure lowering effects od

- angiotensin II receptor blocker monotherapy and in combination with other antihypertensives 21st Scientific meeting of International Society of Hypertension 2006 9) Miyashita Y, Saito I: Evaluation of long-term valsartan treatment on insulin resistance and high sensitive CRP 21st Scientific meeting of International Society of
- 10) 齊藤郁夫:生活習慣病対策フォーラム、職域 における高血圧対策 第38回日本動脈硬化学会 総会 2006

Hypertension 2006

- 11) 齊藤郁夫: Ca 拮抗薬の臨床、効果と費用 第 2回実地臨床高血圧研究会 2006
- 12) 森正明,齊藤郁夫,他:医療関係者の結核対策について Quant i FERON -TB 検査は費用対効果に優れるか 第103回日本内科学会総会 2006
- 13) 柴田洋孝,齊藤郁夫,他:血漿レニン活性および活性レニン濃度を用いたアルドステロン/レニン比の比較:定期健康診断における検討 第79回日本内分泌学会総会 2006
- 14) 河邊博史,齊藤郁夫,他:睡眠不足は起床時 家庭血圧に影響を及ぼすか? 第8回時間循環血 圧研究会 2006
- 15) 広瀬寛,齊藤郁夫,他:ピタバスタチン1 mg/日への切り替えによる脂質改善効果と費用対効果の検討 第38回日本動脈硬化学会 2006
- 16) Kawabe H, Saito I, et al: Which measurement of home blood pressure should be used for clinical diagnosis when multiple measurements were made? The 21st Scientific Meeting of the International Society of Hypertension 2006
- 17) Eguchi T, Saito I, et al: No association of TNFRSF1B microsatellite polymorphism with blood pressure in Japanese health checkup examinees The 21st Scientific Meeting of the International Society of Hypertension 2006
- 18) 藤井香,齊藤郁夫,他:メタボリックシンドローム予防プログラムの評価(第2報):アディポネクチンを指標として 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 19) 肥後綾子,齊藤郁夫,他:女性教職員を対象とした骨粗鬆症予防プログラムの評価(第2報): 食事調査との関連 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 20) 田中由紀子,齊藤郁夫,他:血漿ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)濃度測定の健康診断への活用 第44回全国大学保健管理研究集会2006
- 21) 柴田洋孝,齊藤郁夫,他:血漿アルドステロン濃度とウエスト周囲径の相関と性差 第 10 回日本心血管内分泌代謝学会 2006
- 22) 高山昌子, 齊藤郁夫, 他: 大学生のパソコン 使用状況とライフスタイル 第44回全国大学保健管理研究集会 2006

- 23) 久根木康子,齊藤郁夫,他:キャンパス内分煙と喫煙率の推移 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 24) 松本可愛,齊藤郁夫,他:大学教職員に対する高脂血症予防プログラムの長期効果 第 44 回全国大学保健管理研究集会 2006
- 25) 森正明,齊藤郁夫,他:QuantiFERON-TB 検査を用いた結核定期外健康診断 -2年間の観察期間を終了して- 第44回全国大学保健管理研究集会 2006

南里 清一郎

- 1) 徳村光昭,南里清一郎,他:小・中学校への 自動体外式除細動器(AED)設置の効果と今後の課 題 第53回日本学校保健学会 2006
- 2) 藤井香,南里清一郎,他:メタボリック・シンドローム診断基準に対する飲酒の影響 第53回日本学校保健学会 2006
- 3) 肥後綾子,南里清一郎,他:医学部・看護系学部の学生・教職員におけるB型肝炎ワクチン完遂接種の重要性 第53回日本学校保健学会2006
- 4) 井ノ口美香子,南里清一郎,他:学校健診における腹囲測定の意義(第2報):男子中学生における肥満度および腹囲身長比の変化 第33回日本小児栄養消化器肝臓学会 2006
- 5) 井ノ口美香子,南里清一郎,他:血清コレステロール値の追跡調査(6歳から19歳) 第20回日本小児脂質研究会 2006
- 6) 伴英子,南里清一郎,他:小、中学校における 2006 年 4~5 月 B 型インフルエンザの流行について 第 38 回日本小児感染症学会 2006

河邊 博史

- 1) 森正明,河邊博史,他:医療関係者の結核対策について Quant i FERON -TB 検査は費用対効果に優れるか 第 103 回日本内科学会総会 2006
- 2) 柴田洋孝,河邊博史,他:血漿レニン活性および活性レニン濃度を用いたアルドステロン/レニン比の比較:定期健康診断における検討 第79回日本内分泌学会総会 2006
- 3) 河邊博史,他:睡眠不足は起床時家庭血圧に 影響を及ぼすか? 第8回時間循環血圧研究会2006
- 4) 広瀬寛,河邊博史,他:ピタバスタチン1mg/日への切り替えによる脂質改善効果と費用対効果の検討 第38回日本動脈硬化学会 2006
- 5) Kawabe H, et al: Which measurement of home blood pressure should be used for clinical diagnosis when multiple measurements were made? The 21st Scientific Meeting of the International Society of Hypertension 2006

- 6) Eguchi T, Kawabe H, et al: No association of TNFRSF1B microsatellite polymorphism with blood pressure in Japanese health checkup examinees The 21st Scientific Meeting of the International Society of Hypertension 2006 7) 藤井香,河邊博史,他:メタボリックシンドローム予防プログラムの評価(第2報):アディポネクチンを指標として 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 8) 肥後綾子,河邊博史,他:女性教職員を対象 とした骨粗鬆症予防プログラムの評価(第2報): 食事調査との関連 第44回全国大学保健管理研 究集会 2006
- 9) 田中由紀子,河邊博史,他:血漿ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)濃度測定の健康診断への活用 第44回全国大学保健管理研究集会2006
- 10) 柴田洋孝,河邊博史,他:血漿アルドステロン濃度とウエスト周囲径の相関と性差 第 10 回日本心血管内分泌代謝学会 2006

大野 裕

- 1) 大野裕:精神医学研修コース:うつと不安の 認知療法 第102回日本精神神経学会 2006
- 2) 大野裕:シンポジウム:うつ病の病前性格と 発症脆弱性 第102回日本精神神経学会 2006
- 3) 大野裕:生涯教育研修会:不安障害:診断と治療 第102回日本精神神経学会 2006
- 4) 大野裕:ストレス・マネジメントの実際 第 11回慶応義塾病院臨床研修指導医養成ワークショップ 2006
- 5) 大野裕: ミートザエキスパート 第6回日本 認知療法学会 2006
- 6) 石井朝子,大野裕:シンポジウム:弁証法的 行動療法(DBT)の治療の実際とその展望 第6回 日本認知療法学会 2006
- 7) 大野裕:市民公開講座:認知療法の立場から 自殺予防を考える、うつ病と自殺予防に認知行動 療法は何ができるか 第6回日本認知療法学会 2006
- 8) 田島美幸,大野裕,他: Dysfunctional Attitude Scale 24 日本語版 (DAS24 J)の信頼性・妥当性の検討 第6回日本認知療法学会 2006
- 9) 岡田佳詠,大野裕,他:女性うつ病患者への 集団認知療法プログラムの作成と実践 第6回日 本認知療法学会 2006
- 10) 宗未来,大野裕,他:インターネット認知療法のセルフヘルプ効果:勤労者メンタルヘルスの応用 第6回日本認知療法学会 2006
- 11) 藤澤大介,大野裕:本邦における認知療法の 実施状況に関する研究 第6回日本認知療法学会 2006

- 12) 大野裕,慶應認知行動療法研究会:ワークショップ:うつ病の認知療法 第7回認知療法研修会 2006
- 13) 大野裕:特別講演:認知療法の過去と未来 行動療法の先端性と一般性 第32回日本行動療法 学会 2006
- 14) 大野裕:教育講演:認知行動療法 精神精神 医療のトピックス 第44回全国大学保健管理研 究集会 2006
- 15) 大野裕: 統合失調症周辺知識の向上 日精協 学術教育研修会 2006
- 16) 田中江里子,大野裕,他:高齢者の抑うつ・ 自殺の予防に関する研究 第70回日本心理学学 会大会 2006
- 17) 大野裕:教育講演 「思春期のうつとその対応」 第18回日本小児口腔外科学会総会 2006

辻岡 三南子

- 1) 森正明,辻岡三南子,他:医療関係者の結核 対策において Quant i FERON -TB 検査は費用対効果 に優れるか 第 103 回日本内科学会講演会 2006
- 2) 高山昌子,辻岡三南子,他:大学生のパソコン使用状況とライフスタイル 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 3) 藤井香,辻岡三南子,他:メタボリックシンドローム予防プログラムの評価(第2報):アディポネクチンを指標として 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 4) 森正明, 辻岡三南子, 他: Quant i FERON -TB 検査を用いた結核定期外診断 2年間の観察期間を終了して 第44回全国大学保健管理研究集会2006

德村 光昭

- 1) 徳村光昭,他:小・中学校への自動体外式除 細動器(AED)設置の効果と今後の課題 第53回日 本学校保健学会 2006
- 2) 徳村光昭,他:学校における思春期やせ症(神経性食欲不振症)のスクリーニングに関する研究:厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)「思春期やせ症と思春期の不健康やせの実態把握および対策に関する研究」報告 慶應義塾大学日吉キャンパス研究活動展示報告会(Hiyoshi Research Portfolio 2006) 2006
- 3) 福島裕之,徳村光昭,他:徐脈は思春期やせ 症の診断基準になり得るか 第109回日本小児科 学会学術集会 2006
- 4) 井ノ口美香子, 徳村光昭, 他: 学校健診における腹囲測定の意義(第2報): 男子中学生における肥満度および腹囲身長比の変化 第33回日本小児栄養消化器肝臓学会 2006

森 正明

- 1) 森正明,他:医療関係者の結核対策において QuantiFERON -TB 検査は費用対効果に優れるか 第103回日本内科学会講演会 2006
- 2) 西村知泰,森正明,他:結核診断における Quant i FERON -TB 第2世代の有用性の検討 第81 回日本結核病学会総会 2006
- 3) 藤井香,森正明,他:医学部教職員の喫煙に 関する背景要因 第79回産業衛生学会 2006
- 4) 菊地央,森正明,他:メタボリックシンドロームの有病率について 第79回産業衛生学会 2006
- 5) 藤井香,森正明,他:大学病院職員を対象と した結核管理情報システムとその運用 医療情報 学会第7回看護情報研究会 2006
- 6) 藤井香,森正明,他:メタボリックシンドローム予防プログラムの評価(第2報):アディポネクチンを指標として 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 7) 肥後綾子,森正明,他:女性教職員を対象とした骨粗鬆症予防プログラムの評価(第2報): 食事調査との関連 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 8) 高山昌子,森正明,他:大学生のパソコン使用状況とライフスタイル 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 9) 久根木康子,森正明,他:キャンパス内分煙 と喫煙率の推移 第 44 回全国大学保健管理研究 集会 2006
- 10) 田中由紀子,森正明,他:血漿ヒト脳性ナトリウム利尿(BNP)濃度測定の教職員健康診断への活用 第44回全国大学保健管理研究集会 2006 11) 森正明,他:QuantiFERON-TB 検査を用いた結核定期外健康診断 -2年間の観察期間を終了して- 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 12) 松本可愛,森正明,他:大学教職員に対する 高脂血症予防プログラムの長期効果 第44回全 国大学保健管理研究集会 2006

横山 裕一

- 1) 横山裕一:血清 GTP 活性による非健康的な 生活習慣のスクリーニング;生活習慣病対策への 寄与 第41回日本アルコール薬物学会 2006
- 2) 横山裕一:飲酒と生活習慣病、インスリン抵抗性症候群、メタボリック症候群 第41回日本アルコール薬物学会 2006
- 3) 横山裕一,日比紀文:ベンゾイル化を応用した HPLC 法による糖および糖アルコール分析法の改良;糖微量分析法の確立と代謝研究への応用第27回アルコール医学生物学会議 2007

広瀬 寛

- 1) 塚本秀子,広瀬寛,他:高脂血症 型を伴ったアポリポ蛋白E欠損症の一例 第39回脂質代謝 異常症例検討会 2006
- 2) 森正明,広瀬寛,他:医療関係者の結核対策 について Quant i FERON -TB 検査は費用対効果に優れるか 第 103 回日本内科学会 2006
- 3) 広瀬寛,他:メタボリックシンドロームと密接に関連する血中マーカー:高分子量アディポネクチンの臨床的意義 第79回日本内分泌学会2006
- 4) 清野芳江,広瀬寛,他:メタボリックシンドロームと高分子量、全量アディポネクチン値との 関連 第49回日本糖尿病学会 2006
- 5) 小宮直子,広瀬寛,他:2型糖尿病患者への バルサルタン投与が酸化ストレスマーカーに及ぼ す影響 第49回日本糖尿病学会 2006
- 6) 湯浅幸子,広瀬寛,他:2型糖尿病患者における大血管合併症と MCP-1 -2518 遺伝子多型の関与について 第49回日本糖尿病学会 2006
- 7) 中谷比呂志,広瀬寛,他:高分子量アディポネクチンと高感度 CRP による 2 型糖尿病患者の心血管リスク評価の試み 第 49 回日本糖尿病学会2006
- 8) 広瀬寛,他:定期健康診断における血清グリコアルブミン(GA)および高分子量アディポネクチン測定の有用性の検討 第49回日本糖尿病学会 2006
- 9) 小川健夫,広瀬寛,他:2 APB はマウスラ氏島において、グルコース刺激によるインスリン分泌を低下させた 第49回日本糖尿病学会 2006 10) Hirose H, et al: High molecular weight (HMW) multimer form of adiponectin is a good marker for insulin resistance and Metabolic syndrome 66th Annual Meeting of the American Diabetes Association 2006
- 11) 広瀬寛,他:血清の高分子量アディポネクチン濃度はメタボリックシンドロームのよい指標である(シンポジウム) 第38回日本動脈硬化学会2006
- 12) 広瀬寛,他:ピタバスタチン1mg/日への切り替えによる脂質改善効果と費用対効果の検討第38回日本動脈硬化学会 2006
- 13) 寺本藍, 広瀬寛, 他: 大学生におけるインスリン抵抗性は油脂類の摂取が関係する 第28回日本臨床栄養学会 2006
- 14) 広瀬寛: 血清の高分子量アディポネクチンおよびグリコアルブミン測定の有用性(ランチョンセミナー) 第 46 回日本臨床化学会 2006
- 15) 久根木康子, 広瀬寛, 他: キャンパス内分煙 と喫煙率の推移 第44回全国大学保健管理研究 集会 2006
- 16) 藤井香, 広瀬寛, 他: メタボリックシンドローム予防プログラムの評価(第2報): アディポネクチンを指標として 第44回全国大学保健管

理研究集会 2006

- 17) 森正明,広瀬寛,他:Quant i FERON -TB 検査を用いた定期外健康診断 2 年間の観察期間を終了して 第 44 回全国大学保健管理研究集会2006
- 18) 松本可愛, 広瀬寛, 他: 大学教職員に対する 高脂血症予防プログラムの長期効果 第 44 回全 国大学保健管理研究集会 2006
- 19) 肥後綾子,広瀬寛,他:女性教職員を対象とした骨粗鬆症予防プログラムの評価(第2報): 食事調査との関連 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 20) Saito I, Hirose H, et al: Gap between patients' and physicians' attitudes and awareness toward hypertension and its complication, cardiovascular diseases 21st Scientific Meeting of the International Society of Hypertension 2006
- 21) Hirao K, Hirose H, et al: Implication of antibodies to oxidized low density lipoprotein (ox LDL) and polymorphisms in hypertension with diabetes 21st Scientific Meeting of the International Society of Hypertension 2006 22) Eguchi T, Hirose H, et al: No association of TNFRSF1B microsatellite polymorphism with blood pressure in Japanese health checkup examinees 21st Scientific Meeting of the International Society of Hypertension 2006 23) Hirose H, et al: Blood pressure -independent effects of valsartan on oxidative and glycation markers in type 2 diabetic subjects 21st Scientific Meeting of the International Society of Hypertension 2006
- 24) 田畑光久, 広瀬寛, 他: 血清 AGF 濃度はインスリン抵抗性と関連する 第 27 回日本肥満学会 2006
- 25) 小宮直子, 広瀬寛, 他:2型糖尿病における バルサルタン(AT 受容体拮抗薬)の抗酸化作用 第10回日本心血管内分泌代謝学会 2006
- 26) 清野芳江, 広瀬寛, 他: メタボリックシンドロームの予測と高分子量アディポネクチン・MCP -1値との関連 第 10回日本心血管内分泌代謝学会 2006
- 27) 中谷比呂志, 広瀬寛, 他: 若年男性における 高分子量アディポネクチン濃度の意義 第 10 回 日本心血管内分泌代謝学会 2006
- 28) 寺本藍, 広瀬寛, 他: 大学生のインスリン抵抗性は油脂・菓子類の摂取が関係する 第 10 回日本病態栄養学会 2007
- 29) 広瀬寛: アディポネクチンとの関連 第 1 回「日本人におけるインスリン分泌とインスリン 抵抗性に関する委員会」公開シンポジウム(日本 糖尿病学会) 2007

- 1) 柴田洋孝,村井彩乃,他:原発性アルドステロン症の局在診断における画像診断の有用性 第 103回日本内科学会講演会 2006
- 2) 柴田洋孝,太田敦美,他:血漿レニン活性および活性レニン濃度を用いたアルドステロン/レニン比:高血圧および正常血圧者における比較検討 第79回日本内分泌学会学術総会 2006
- 3) 村井彩乃,柴田洋孝,他:心臓におけるアルドステロン作用の新規調節因子 NF-YC の同定: Yeast two hybrid system を用いたミネラルコルチコイド受容体結合蛋白のクローニング 第79回日本内分泌学会学術総会 2006
- 4) 村井彩乃,柴田洋孝,他:副腎腫瘍の局在診断における1311-アドステロール副腎シンチグラム:ファントム実験による吸収係数およびバックグランド補正の適用による定量的解析 第79回日本内分泌学会学術総会 2006
- 5) 須田徳子,柴田洋孝,他:副腎腫瘍患者におけるコルチゾール産生量の再評価:尿中 17-0HCS、遊離コルチゾールおよびテトラヒドロコルチゾールの比較検討 第79回日本内分泌学会学術総会2006
- 6) 横田健一,柴田洋孝,他:副腎皮質癌 10 例におけるステロイド産生の検討:尿中ステロイドー 斉分析の有用性 第79回日本内分泌学会学術総会 2006
- 7) 柴田洋孝,須田徳子,他:副腎偶発腫瘍の診断 第79回日本内分泌学会学術総会 2006
- 8) 柴田洋孝,横田健一,他:ミネラルコルチコイド受容体と転写共役因子のリガンド依存性相互 作用 第49回日本腎臓学会総会 2006
- 9) Murai A, Shibata H, et al: Identification of NF YC as a transcriptional corepressor of human mineralocorticoid receptor using a yeast two hybrid system The Endocrine Society's 88th Annual Meeting 2006
- 10) Murai A, Shibata H, et al: Usefulness of quantitative 1311 adosterol adrenal scintigraphy for functional localization of adrenocortical adenomas. The Endocrine Society's 88th Annual Meeting 2006
- 11) Suda N, Shibata H, et al: Usefulness of urine 5b -tetrahydrocortisol in the diagnosis of Cushing 's syndrome The Endocrine Society's 88th Annual Meeting 2006
- 12) Yokota K, Shibata H, et al: Analysis of steroidogenesis in adrenocortical carcinoma: usefulness of urinary steroid profiles determined by gas chromatography/mass spectrometry selective ion monitoring. The Endocrine Society's 88th Annual Meeting. 2006. 13) Shibata H, Ohta A, et al: Active renin versus plasma renin activity to define.

- aldosteron to renin ratio in mild to moderate hypertension The Endocrine Society's 88th Annual Meeting 2006
- 14) Shibata H, Murai A, et al: NF YC functions as a transcriptional corepressor of the mineralocorticoid receptor The 32nd International Aldosterone Conference 2006
 15) 横田健一,柴田洋孝,他:ミネラルコルチコイド受容体の新規 coactivator である Ubc9 の機能解析 Young Endocrinologist Conference 2006 2006
- 16) 横田健一,柴田洋孝,他:ミネラルコルチコイド受容体のコアクチベーターUbc9の機能解析第8回東京アルドステロンフォーラム 2006
- 17) 柴田洋孝:原発性アルドステロン症診断の現状と問題点 第11回東北副腎研究会(教育講演) 2006
- 18) 柴田洋孝:生活習慣病におけるアルドステロンの再評価 第6回日本内分泌学会北海道支部学術集会(特別講演) 2006
- 19) 西川哲男,柴田洋孝,他:原発性アルドステロン症の診断基準および治療法の検討(その1) 第10回日本心血管内分泌代謝学会 2006
- 20) 柴田洋孝,太田敦美,他:血漿アルドステロン濃度とウエスト周囲径の相関と性差 第 10 回日本心血管内分泌代謝学会 2006
- 21) 柴田洋孝,須田徳子,他:デキサメタゾン抑制副腎シンチグラフィーと副腎静脈サンプリングが異なる局在診断を示した原発性アルドステロン症の一例 第10回日本心血管内分泌代謝学会2006
- 22) 西川哲男,柴田洋孝,他:原発性アルドステロン症の診断基準および治療法の検討(その1) 第14回日本ステロイドホルモン学会 2006
- 23) Shibata H, Murai -Takeda A, et al: NF -YC is a novel ligand dependent corepressor of the mineralocorticoid receptor International Society of Hypertension Symposium for aldosterone and hypertension 2006
- 24) 武田彩乃,柴田洋孝,他:腹腔鏡下片側副腎 摘出術により改善を認めた ACTH 非依存性大結節 性副腎皮質過形成によるクッシング症候群の一例 第 17 回臨床内分泌代謝 Update 2006
- 25) 須田徳子,柴田洋孝,他:多腺性自己免疫症候群 I 型に亜急性甲状腺炎を合併した一例 第 17 回臨床内分泌代謝 Update 2006
- 26) 横田健一,柴田洋孝,他:右副腎に脂肪成分の異なる2つの腫瘍を認めたCushing症候群の一例 第7回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会 2006
- 27) 肥後綾子,柴田洋孝,他:女性教職員を対象 とした骨粗鬆症予防プログラムの評価(第2報): 食事調査との関連 第44回全国大学保健管理研 究集会 2006
- 28) 藤井香,柴田洋孝,他:メタボリックシンド

ローム予防プログラムの評価(第2報):アディ ポネクチンを指標として 第44回全国大学保健 管理研究集会 2006

29) Shibata H, Yoktoa K, et al:
Transcriptional coregulators for the
N-terminal transactivation of
mineralocorticoid receptor The 4th
International Nuclear Receptor Meeting 2007
30) 柴田洋孝:メタボリックシンドロームと血漿
アルドステロン濃度 第9回東京アルドステロン
フォーラム 2007

西村 由貴

- 1) Nishimura Y: Is the informed consent for individuals with schizophrenia being widely accepted among the psychiatrists after changing the name of the disease?; results of a 3 year study. A DECADE OF PROGRESS Third International Conference Istanbul, Turkey 2006
- 2) 西村由貴: 学生のメンタルヘルス・スクリーニング調査に関する研究 Hisyoshi Research Portfolio 2006 2006
- 3) 西村由貴:サイコパシーチェックリスト・トレーニングワークショップ 第3回 PCL R ワークショップ 2006
- 4) 西村由貴:サイコパシーチェックリスト・トレーニングワークショップ 第4回 PCL R ワークショップ 2006

田中 徹哉

- 1) 酒井道子,田中徹哉,他:早期の外科侵襲と 発達の歪み 関東子ども精神保健学会第4回学術 集会 2007
- 2) 徳村光昭,田中徹哉,他:小・中学校への自動体外式除細動器(AED)設置の効果と今後の課題 第53回日本学校保健学会 2006
- 3) 徳村光昭,田中徹哉,他:学校における思春期やせ症(神経性食欲不振症)のスクリーニングに関する研究:厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)「思春期やせ症と思春期の不健康やせの実態把握および対策に関する研究」報告 慶應義塾大学日吉キャンパス研究活動展示報告会(Hiyoshi Research Portfolio 2006) 2006

井ノ口 美香子

1) 井ノ口美香子,他:成長曲線作成による小児期 発症神経性食欲不振症のハイリスク児抽出(分野 別シンポジウム:成長曲線から見えてくるこども の心の問題) 第109回日本小児科学会学術集会 2006

- 2) 井ノ口美香子,他:子どもの神経性食欲不振症 成長曲線を使ってその芽を摘む 第2回横須賀・三浦子ども健康フォーラム 2006
- 3) 井ノ口美香子,他:日本人小児における腹囲および腹囲身長比-成長曲線の作成と測定位置差および性差の検討- 第40回日本小児内分泌学会2006
- 4) 井ノ口美香子,他:学校健診における腹囲測定の意義(第2報)-男子中学生における肥満度および腹囲身長比の変化-第33回日本小児栄養消化器肝臓学会 2006
- 5) 井ノ口美香子,他:血清コレステロール値の追跡調査(6歳から19歳)第2報 第20回日本小児脂質研究会 2006
- 6) 井ノ口美香子,他:BMI(body mass index)の日本人小児基準値 慶應義塾大学日吉キャンパス研究活動展示報告会(Hiyoshi Research Portfolio 2006) 2006
- 7) 徳村光昭,井ノ口美香子,他:小・中学校への 自動体外式除細動器(AED)設置の効果と今後の課 題 第53回 日本学校保健学会 2006
- 8) 徳村光昭,井ノ口美香子,他:学校における思春期やせ症(神経性食欲不振症)のスクリーニングに関する研究:厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告「思春期やせ症と思春期の不健康やせの実態把握および対策に関する研究」慶應義塾大学日吉キャンパス研究活動展示報告会(Hiyoshi Research Portfolio 2006) 2006

伴 英子

- 1) 伴英子,他:小、中学校における 2006 年 4~5月 B 型インフルエンザの流行について 第 38 回 日本小児感染症学会 2006
- 2) 徳村光昭,伴英子,他:小・中学校への自動体外式除細動器(AED)設置の効果と今後の課題第53回日本学校保健学会 2006
- 3) 徳村光昭,伴英子,他:学校における思春期やせ症(神経性食欲不振症)のスクリーニングに関する研究:厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)「思春期やせ症と思春期の不健康やせの実態把握および対策に関する研究」報告 慶應義塾大学日吉キャンパス研究活動展示報告会

(Hiyoshi Research Portfolio 2006) 2006

中島正則

1) 中島正則,他:コーンビーム CT における歯科 領域のポジショニング 第62回日本放射線技術 学会 2006

小野 恵子

1) 高山昌子,小野恵子,他:大学生のパソコン 使用状況とライフスタイル 第 44 回全国大学保 健管理研究集会 2006

田中 由紀子

1) 田中由紀子,他:血漿ヒト脳性ナトリウム利 尿ペプチド(BNP)濃度測定の教職員健康診断 への活用 第44回全国大学保健管理研究集会 2006

藤井 香

- 1) 藤井香,他:大学病院職員を対象とした結核 管理情報システムとその運用 医療情報学会第7 回看護情報研究会 2006
- 2) 藤井香,他:医学部教職員の喫煙に関する背 景要因 第79回産業衛生学会 2006
- 3) 藤井香,他:メタボリック・シンドローム診断基準に対する飲酒の影響 第53回日本学校保健学会 2006
- 4) 肥後綾子,藤井香,他:医学部・看護系学部の学生・教職員におけるB型肝炎ワクチン完遂接種の重要性 第53回日本学校保健学会 2006
- 5) 藤井香,他:メタボリックシンドローム予防 プログラムの評価(第2報):アディポネクチン を指標として 第44回全国大学保健管理研究集 会 2006
- 6) 肥後綾子,藤井香,他:女性教職員を対象とした骨粗鬆症予防プログラムの評価(第2報): 食事調査との関連 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 7) 高山昌子,藤井香,他:大学生のパソコン使 用状況とライフスタイル 第 44 回全国大学保健 管理研究集会 2006
- 8) 久根木康子,藤井香,他:キャンパス内分煙 と喫煙率の推移 第 44 回全国大学保健管理研究 集会 2006
- 9) 田中由紀子,藤井香,他:血漿ヒト脳性ナト リウム利尿(BNP)濃度測定の教職員健康診断への 活用 第44回全国大学保健管理研究集会 2006 10) 森正明,藤井香,他:QuantiFERON-TB 検査 を用いた結核定期外健康診断 -2年間の観察期 間を終了して- 第44回全国大学保健管理研究 集会 2006
- 11) 松本可愛,藤井香,他:大学教職員に対する 高脂血症予防プログラムの長期効果 第 44 回全 国大学保健管理研究集会 2006
- 12) 藤井香,他:都市部女子中学生の食事調査 標準体型でエネルギー摂取量が低い「やせ予備軍」の検討 第4回日本小児栄養研究会 2006

荒井 綾子

1) 徳村光昭,荒井綾子,他:小・中学校への自動体外式除細動器(AED)設置の効果と今後の課題 第53回日本学校保健学会 2006

高山 昌子

- 1) 高山昌子,他:大学生のパソコン使用状況と ライフスタイル 第44回全国大学保健管理研究 集会 2006
- 2) 森正明,高山昌子,他:Quant i FERON -TB 検査を用いた結核定期外健康診断 2 年間の観察期間を終了して 第 44 回全国大学保健管理研究集会 2006
- 3) 田中由紀子,高山昌子,他:血漿ヒト脳性ナトリウム利尿 (BNP)濃度測定の教職員健康診断への活用 第44回全国大学保健管理研究集会2006
- 4) 藤井香,高山昌子,他:メタボリックシンドローム予防プログラムの評価(第2報):アディポネクチンを指標として 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 5) 松本可愛,高山昌子,他:大学教職員に対する高脂血症予防プログラムの長期効果 第 44 回 全国大学保健管理研究集会 2006
- 6) 肥後綾子,高山昌子,他:女性教職員を対象 とした骨粗鬆症予防プログラムの評価(第2報): 食事調査との関連 第44回全国大学保健管理研 究集会 2006

久根木 康子

- 1) 藤井香,久根木康子,他:メタボリックシンドローム予防プログラムの評価(第2報):アディポネクチンを指標として 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 2) 肥後綾子, 久根木康子, 他: 女性教職員を対象とした骨粗鬆症予防プログラムの評価(第2報): 食事調査との関連 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 3) 高山昌子, 久根木康子, 他: 大学生のパソコン使用状況とライフスタイル 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 4) 久根木康子,他:キャンパス内分煙と喫煙率の推移 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 5) 田中由紀子, 久根木康子, 他:血漿ヒト脳性ナトリウム利尿(BNP)濃度測定の教職員健康診断への活用 第44回全国大学保健管理研究集会2006
- 6) 森正明,久根木康子,他:QuantiFERON -TB 検査を用いた結核定期外健康診断 2 年間の観察期間を終了して 第 44 回全国大学保健管理研究集会 2006
- 7) 松本可愛, 久根木康子, 他: 大学教職員に対する高脂血症予防プログラムの長期効果 第44

回全国大学保健管理研究集会 2006

木村 奈々

1) 徳村光昭,木村奈々,他:小・中学校への自動体外式除細動器(AED)設置の効果と今後の課題第53回日本学校保健学会 2006

松本 可愛

1) 松本可愛,他:大学教職員に対する高脂血症 予防プログラムの長期効果 第44回全国大学保 健管理研究集会 2006

肥後 綾子

- 1) 藤井香,肥後綾子,他:大学病院職員を対象 とした結核管理情報システムとその運用 医療情 報学会第7回看護情報研究会 2006
- 2) 藤井香,肥後綾子,他:医学部教職員の喫煙 に関する背景要因 第79回産業衛生学会 2006
- 3) 藤井香,肥後綾子,他:メタボリック・シンドローム診断基準に対する飲酒の影響 第53回 日本学校保健学会 2006
- 4) 肥後綾子,他:医学部・看護系学部の学生・ 教職員におけるB型肝炎ワクチン完遂接種の重要 性 第53回日本学校保健学会 2006
- 5) 藤井香,肥後綾子,他:メタボリックシンドローム予防プログラムの評価(第2報):アディポネクチンを指標として 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 6) 肥後綾子,他:女性教職員を対象とした骨粗 鬆症予防プログラムの評価(第2報):食事調査 との関連 第44回全国大学保健管理研究集会 2006
- 7) 高山昌子,肥後綾子,他:大学生のパソコン 使用状況とライフスタイル 第 44 回全国大学保 健管理研究集会 2006
- 9) 田中由紀子,肥後綾子,他:血漿ヒト脳性ナトリウム利尿 (BNP)濃度測定の教職員健康診断への活用 第44回全国大学保健管理研究集会2006
- 10) 森正明,肥後綾子,他:QuantiFERON-TB 検査を用いた結核定期外健康診断 2 年間の観察期間を終了して 第 44 回全国大学保健管理研究集会 2006
- 11) 松本可愛, 肥後綾子, 他: 大学教職員に対する高脂血症予防プログラムの長期効果 第44回全国大学保健管理研究集会 2006

山岸 あや

1) 徳村光昭,山岸あや,他:小・中学校への自動体外式除細動器(AED)設置の効果と今後の課題

第53回日本学校保健学会 2006

外山 千鈴

1) 徳村光昭,外山千鈴,他:小・中学校への自動体外式除細動器(AED)設置の効果と今後の課題第53回日本学校保健学会 2006

土屋 実穂

- 1) 高山昌子,土屋実穂,他:大学生のパソコン 使用状況とライフスタイル 第 44 回全国大学保 健管理研究集会 2006
- 2) 徳村光昭,土屋実穂,他:小・中学校への自動体外式除細動器(AED)設置の効果と今後の課題第53回日本学校保健学会 2006

園田 由樹子

1) 高山昌子,園田由樹子,他:大学生のパソコン使用状況とライフスタイル 第44回全国大学保健管理研究集会 2006